

## ■事業報告書の概要

### 管理業務の実施状況

- 1 原始・古代の歴史を学ぶ機会の提供  
常設展示の入れ替えや、歴史講座、史跡ガイドウォーク等を実施し、原始・古代への関心を高めた。
- 2 埋蔵文化財資料の整理・保管・研究  
米子市が所有する考古資料や記録類を適切に整理し収蔵保管した。また、大学や研究機関等と連携して調査研究を図った。
- 3 情報発信  
施設ホームページや施設通信の発行等で情報発信に努めた。
- 4 連携事業の促進  
米子市内の歴史関係施設や鳥取県ミュージアムネットワーク加盟施設と連携を図って事業を実施した。また、学校や公民館と連携して体験事業等を実施した。
- 5 施設管理の充実  
施設周辺の除草、植栽の剪定、花壇整備等を行い、環境美化を図った。

### 自主事業の実施状況

区分		令和6年度	令和5年度
常設展（米子の遺跡と発掘調査、米子の原始・古代）	利用者数	4,095人	3,383人
	収入額	—	—
企画展（遺跡から見つかった動物たち、縄文時代の米子等）	利用者数	1,492人	1,484人
	収入額	—	—
教育普及事業（史跡ガイドウォーク、考古学講演会出前講座等）	利用者数	888人	633人
	収入額		
連携事業（ワークショップ、体験学習等）	利用者数	541人	326人
	収入額	65,500円	78,400円
調査研究・保管・活用（収蔵品貸出、収蔵品等研究利用、施設利用等）	利用者数	568人	417人
	収入額	—	—
合 計	利用者数	7,584人	6,243人
	収入額	65,500円	78,400円

※自主事業の収入は、指定管理者の収入になっています。

### 学芸員による主な調査研究実績

調査名	概要
鳥取県内所在古墳群出土人骨の年代学的調査とDNA分析	国立歴史民俗博物館及び国立科学博物館の事業に協力し、米子市出土古墳時代人骨に関して年代学的調査とDNA分析を行った。今後、研究調査がまとまった段階で、企画展示や講演会等を検討している。
普段寺古墳出土土器の調査研究	普段寺古墳からは「卑弥呼の鏡」と言われている三角縁神獣鏡が出土している。鳥取大学及び島根大学と協力し、普段寺古墳出土土器の詳細な調査研究を行った。今後、研究成果を発表を検討している。

砂丘地の遺跡の調査研究	米子市街地の地下には手つかずの遺跡が残っており、これまでの発掘調査の詳細な研究を行い、その成果を企画展「砂に埋もれた古代の暮らし」に反映した。
動物に関する出土品の調査	考古学を幅広い世代に知ってもらうため、古代人と動物との関わりを遺跡の出土した遺物から調査研究を行い、その成果を企画展「遺跡から見つかった動物たちが集まりました。」に反映した。
縄文時代の暮らしの調査	米子市内にある縄文時代の遺跡の調査を行い、その成果を企画展「縄文時代の米子～豊かな森と海に暮らした米子の縄文人たち～」に反映した。

### 管理業務の実施に係る収支状況

収入額の合計…18,209,499円（うち指定管理料18,043,000円）

支出額の合計…17,105,021円

### ■ご意見・ご質問

- ・事業報告書の内容についてのご質問は…  
文化振興課 電話：0859(23)5436 まで
- ・指定管理者制度について的一般的なご意見・ご質問は…  
総務管財課 電話：0859(23)5323 まで  
お寄せください。